

JDS大学要望調査 受入提案書評価ポイント

	分類	評価項目		ポイント
1	対象国の開発課題に対する指導方針	(1)	課題に照らした指導方針の的確性	☐ 対象国及び開発課題に照らし、合致した方針となっているか。 ☐ 行政官等が対象であることを踏まえ、学術性に偏らず実践的な能力向上を勘案した指導方針となっているか。 ☐ 対象国の特徴及び将来を踏まえた工夫が指導方針に盛り込まれているか。
2	指導内容	(2)	カリキュラム、指導内容の合致度・充実度（優位性） 特別プログラムやフィールドワーク等の機会提供及びJICA協力プログラム（他スキーム）経験を踏まえた提案内容（付加価値）	☐ 当該開発課題と提案されているプログラムとの関連性 ☐ 開発課題に応じたプログラム体系の一貫性 ☐ 実践的な視点（課題にかかる政策立案/行政能力向上）を念頭に置いた内容の有無 ☐ 調査・分析及びプレゼンテーション能力等の向上を図る内容及び指導上の工夫 ☐ 対象国・地域の特性に対応する内容、（フィールド調査、セミナー等）の有無 ☐ 国内外の専門家ネットワークへの参加、関係強化に資する取り組みの有無 ☐ 留学生に対する来日前帰国後のフォローの有無 等 ☐ JICA協力プログラムの実績を踏まえたプログラムの提案 ☐ 当該開発課題に関する日本の開発経験（国際協力の経験）を学べる内容の有無 ☐ JICA開発大学院連携プログラム（個別プログラム）の提供
		(3)	公的機関等でのインターンシップ機会提供の有無及びその事例、予定している内容	☐ （帰国後も続く）インターンシップ先とのネットワーク構築に有効な内容か ☐ 帰国後の業務に有効な内容か
		(4)	帰国留学生に対する付加価値提供の提案内容	☐ 帰国したJDS留学生との関係維持強化を目的とする帰国留学生向けセミナーに対する提案（当該分野における最新研究の講義、大学および帰国留学生同士のネットワーク強化等） ☐ その他帰国したJDS留学生向けの付加価値提供に対する提案
3	指導体制	(5)	指導体制の充実度 人材育成・専門分野におけるネットワーク構築に関する強み	☐ 求められる研究テーマと教員陣の専門分野の合致度 ☐ 副指導教官制、チューター配置、ティーチングアシスタント配置等のチーム体制有無 ☐ 基礎能力、論文作成力等向上のサポート体制 （英論文指導/ネイティブスピーカー論文添削・指導、事前学習の実施、個別指導等） ☐ 民間企業や行政機関とのネットワークの構築状況
		(6)	対象国・開発課題における研究実績、論文タイトル、強み等	☐ 留学生への指導に良い影響を与えることが期待できる研究・協力実績があるか。 ☐ 対象開発課題が、教員自身または指導した学生が執筆した論文のテーマに含まれているか。 ☐ 上記研究協力の現況（規模、実施年数、実施中か否か等） ☐ 指導予定教官等の関わり方 等
		(7)	日本人学生との交流機会（交流や就学機会の提供に関する工夫）	☐ 親日派・知日派の育成に繋がる工夫がなされているか ☐ 日本人学生と共に学び、過ごす就学環境であるか ☐ 日本人学生とネットワーク構築が期待できる工夫がなされているか
		(8)	英語での指導環境	☐ 取得対象科目が英語で実施されており、また英語指導が可能な教員は十分か。 （JDS生が英語で受講できる科目数/割合、英語で指導ができる教員数/割合） ☐ 留学生の数/割合 等
4	受入経験	(9)	留学生受入実績と教訓の反映（帰国留学生へのフォローアップ実績含む）	☐ 当該国、当該分野におけるJDS留学生または他留学生の受入実績・規模 ☐ 受入実績のある留学生の国・地域と、今回対象国との類似性 （開発課題の共通性、留学生の語学力等） ☐ 過去の受入上の成果 （帰国留学生の活躍、大学と対象国関係機関とのネットワーク強化等々） ☐ 過去の教訓を踏まえた改善の取り組み状況にかかる記述の有無 （プログラム、指導体制、他サービスの見直し等）等 ☐ 帰国留学生（JDS留学生または他の留学生）へのフォローアップに関する実績（同窓会、現地セミナー開催、本邦招聘など）
5	生活面でのサポート	(10)	大学及び各研究科における留学生サポート体制	☐ 学生生活へのサポート体制は充実しているか。（留学生サポートセンターの有無、JDS留学生が利用できる国際学生寮の有無、生活・福利厚生サービス等） ☐ 留学生が参加できる日本文化・地域社会との交流の機会等が充実しているか。